

2024 年度 事業計画

新島学園短期大学

概要

短大のステークホルダーである学生や保護者が重視している「卒業後の進路を確かめて豊かなものにする」という目標は継続して設定・共有していくが、それだけに留まらず、キリスト教主義教育の理念に基づいて、その後の人生をより良く生きるための基盤をつくることのできる二年間、すなわち本学での学生生活が「人生を支える二年間」となれるような教育・支援活動を実践していく。

18歳人口の減少と、短期大学進学率の低下という厳しい環境の中で、学生や社会に価値を与えることのできる短期大学となるための新しい学びの形成や、組織力向上、地域・社会との連携強化についても併せて取り組んでいく。そしてこれらのことが学生の成長につながり、それが地域社会や更に広い範囲で認知、評価されることで、新島学園短期大学が短期大学のブランド校としてのポジションを獲得できることを目指していく。

将来構想としては、学科増も含めた学科内容の見直しを行うほか、すでに多くの四年制大学が設置されている状況の中で、差別化された価値を与えることのできる四年制大学設置の可能性についても検討していく。

2023 年度の振り返りと改善事項

2023 年度を振り返ってみると、計画通りに実施できたことも少なくないが、後半になってから帳尻を合わせようような実施状況も少なからずあった。2022 年度の反省に立って、各計画の実施時期、担当部署を明確にし、全員でそれを共有できるように図ったつもりではあったが、それでも予定通り進まない状況があったので、2024 年度はさらに具体的なスケジュールを策定し、1 か月ごとに進捗状況を管理する会議を開催して、計画を決められた時期に着実に実行していきたい。

1. キリスト教精神を生かしたキャンパスライフ

- ・チャペルアワーの時間を学生が自己の人生を考える時間として位置づけ、聖書を題材としつつも、学生のこれからの人生と関連付けられる要素を充実させていく。その効果に関してはアンケートで把握し、宗教主任を交えた管理職教職員で検討し、改善を図っていく。
- ・教職員に対しての、建学の精神、キリスト教主義教育に関する研修を年1回実施する。新任教職員に関しては、入職時にも研修を行う。
- ・キリスト教行事等の実施に協力する学生組織「ゴスペル」の活動を支援する。

- ・ 日常のキャンパスライフにおいてキリスト教精神を体感できるようなプログラムを検討し、実施する。
- ・ 「いのち」の大切さについて考える機会を持つ。

2. 入学者の確保

- ・ 連携高校との活動のより活性化と新しい連携の形を検討する（WCV など）。
- ・ 県内短大と連携して短期大学教育のメリットをアピールしていく。
- ・ 広報部門を中心とした全学挙げての広報体制を確立する。
- ・ 受験生、高等学校への定期的な情報発信と計画的、効果的な高校訪問を行う。
- ・ SNS、ホームページでの効果的な情報発信。
- ・ 差別化を図ることのできる就職実績（含む公務員）、編入実績を挙げる。
- ・ 魅力的なキャンパスづくりの工夫
- ・ 保護者、卒業生に対してもアンケート等を実施し、教育内容の改善を図る。

3. 組織づくり

- ・ 学長、副学長、学長補佐、学科長、事務長等で構成する会議体を組織し、事業計画の実施、見直し等を管理する。
- ・ エンロールメントマネジメントの展開（ホームカミングなど）と IR 活動スタート。
- ・ 教学マネジメントを担当する部署の新設。
- ・ キャリアデザイン学科とコミュニティ子ども学科の連携を構想する。
- ・ 教職員の能力開発（体系的な FD・SD 活動、業務の効率化による新しい活動の展開）

4. 将来構想ほか

- ・ 学科増に向けて、諸条件を整備していく。
- ・ 四年制大学の開設も視野に入れて情報収集等の活動を継続していく。
- ・ 将来の展開を見据えた施設・設備整備計画を立案していく。
- ・ 現在の学科体制となって 20 年となるので、これまでの歩みの総括と、リカレント教育はじめ、今後の展開を社会にアピールする。
- ・ 補助金獲得チームを編成し補助金の増額を図る。